

尺八で懐かしのメロディー

結城市と筑西市の尺八愛好家で作る「筑西尺八の会」のメンバー5人が、6月12日、通所リハビリセンター「茶釜の湯」を訪れて、尺八の演奏を披露しました。会場には、茶釜の湯の利用者さんをはじめ、特別養護老人ホーム「ヒューマンハウス」、介護老人保健施設「すばる」、結城デイサービスセンター「ヒューマンハウス」利用者さんや近隣の人たちも訪れ、尺八の奏でる懐かしいメロディーに聴き入っていました。

筑西尺八の会は、竹澤郁雄さんを代表に、新井政光さん、仲島駿さん、山田涼介さん、坪山久子さんの5人がメンバー。5人は、県西生涯学習センターで開かれていた尺八教室に通い、新井さんの指導で練習を続け、3年前に会を発足しました。会を結成後、筑西市や結城市などの施設を回るなどして、演奏活動を行っています。

演奏会は、『風雪なだれ旅』、『月の砂漠』、『北国の春』などの懐かしい曲を5人そろってオープニング演奏。その後、『悲しい酒』、『さざんかの宿』などの名曲を5人がそれぞれソロで演奏しました。

テンポのいい曲では、会場から手拍子が送られるなど、盛り上がっていました。途中、新井篠笛を演奏し、その美しいハーモニーに会場は酔いしれていました。

最後は、アンコールの声に応え、美空ひばりの名曲『越後獅子の唄』を5人で演奏し、大きな拍手が送られて演奏会を締めくくりました。

平成29年6月12日

